



ゆずりは通信 (H27年8月)

●定例教育委員会での主な審議事項等（7月）

★第7回（H27.7.2）

- ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に係る補償基礎額等を定める規則の一部を改正する規則制定の件
- ・ 平成28年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の応募状況
- ・ 平成28年高等学校進学希望者数等動向調査（H27.6.10現在）の結果

★第8回（H27.7.16）

- ・ 平成27年度兵庫県文化財保護審議会への諮問に関する件
- ・ 平成27年度県立健康増進施設の指定管理者の公募について
- ・ 平成27年度全国高等学校総合体育大会の開催

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/iinkaikaigi/iinkaikaigi27.htm>

県教委TOPICS

●保護者のためのネット利用ガイドブック VOL. 2-2 を配布しました

スマートフォンの適切な利用を呼びかけるリーフレットを県立学校の全保護者に向けて配布しました。生徒や保護者にフィルタリング設定の重要性やルールづくりのポイント、もしトラブルにあった場合の相談窓口などを掲載しています。ネット依存やトラブルを防ぐためには、学校や保護者が連携した指導が不可欠です。県内の学校では、生徒会を中心に、生徒自身がスマートフォンや携帯電話の利用方法について考え、ルール作りをはじめており、各ネットモラル向上の「主体的な取組」は下記の URL からご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/sumaho/sumaho.html>

●香住高校実習船 第6代但州丸竣工式 (7月8日)

このたび完成した香住高校の実習船、第6代但州丸の竣工式が同校で催されました。また、式典後は記念航海が行われました。今年創立70年を迎える香住高校は本県で唯一水産科を有し、兵庫の水産業を担う水産・海洋のスペシャリストを育成してきました。但州丸は、昭和23年にその初代が建造されて以来、時代に即応した変遷を経ながら現在に至っており、歴代の但州丸で学んだ卒業生たちが全国の水産関連分野で活躍されています。新・但州丸は先代から一回りコンパクトながら最新の機器を搭載し、実習を行う生徒たちが社会に出てもすぐに現場に対応できるよう実践性が高められています。また、従来のトロール実習、マグロはえ縄実習に加え、地域の主要な漁業の一つであるイカ釣り漁業の実習も可能になりました。

※詳しくはワンショットニュースをご覧ください。



新実習船「但州丸」竣工式 式典



新実習船「但州丸」竣工式 テープカット

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/oneshot15/2707/index.htm>

●県立但馬やまびこの郷 ～地域やまびこ教室がスタートしました～

不登校の小中学生を対象に、県内6地域に県立やまびこの郷スタッフが出向き、それぞれの地域の特徴を生かした体験活動を実施します。

7月22日(水)～23日(木) 県立いえしま自然体験センターでは、防波堤からの釣り体験、野外炊飯、波音を聞きながらの散策、カヌー体験など、二日間を通して家島ならではの活動を満喫でき、参加した子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。

7月24日(金) 県立神出学園では、ヤギ・ヒツジ・ウサギなどの動物とのふれあいや緑の広場でのスポーツを実施しました。1日でしたが、楽しく充実した内容で時間があっという間に過ぎていきました。

今後も9月から11月にかけて播磨東、阪神、淡路、但馬・丹波の順に教室を開催します。

※詳しくは県立但馬やまびこの郷ホームページをご覧ください。

<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>



カヌー体験(県立いえしま自然体験センター)



防波堤で釣り体験(家島)



動物とふれあい体験(神出学園)

●ひょうごグローバル・リーダー育成キャンプ（7月30日～8月2日）

県立高校2年生94名がALTとの活動・宿泊生活などを通じて「生きた英語」を学ぶとともに、理論的思考力や表現力の向上に取り組み、将来、世界で活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、「サマーキャンプ」を実施しました。ALT等のネイティブスピーカーとの交流を通じた学習や国際バカロレアの手法を用いた討論等、活動はすべて英語で行われました。

サマーキャンプでは、物事の見え方やリサーチの方法を学ぶとともに、5人一組で行う課題研究のテーマを決定し、スプリングキャンプまでの研究計画を立てました。スプリングキャンプでは、それぞれの研究成果を班でまとめ、プレゼンテーションを行う予定です。

参加した生徒たちは、最初は緊張していましたが、徐々に周りの生徒やALTと打ち解け、充実した4日間を過ごす事ができました。皆、スプリングキャンプで再会することを楽しみにしています。



ワークショップの様子



ALTとのアクティビティ

●県立学校が県庁の緑化等に取り組んでいます

7月中は香住高校の小型実習船「しりうす」の特大パネルの中に、同実習船で生徒が採集した海藻や魚、プランクトンなどが展示されました。水槽の中にはメバル、アミメハギ、カワハギが泳いでいました。同校の取組などを詳しく紹介したパネルも展示されました。



香住高校の展示

7月31日には山崎高校が、「里山」をテーマに作成されました。民家や畑の脇に揖保川の流れる里山の涼しげな情景に仕上げられています。意外に一番苦労したのは周りを囲んでいる木の柵だったとのこと。先輩の作成した木彫りのフクロウやタカ、同校マスコット「ヤマちゃん・サキちゃん」も飾られていますので、通られる際はぜひ顔を見てみてください。



山崎高校の展示

展示場所：県庁2号館と3号館の間の通路（議会棟1階）

※学校PR等はワンショットニュースをご覧ください。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/oneshot15/2706/index.htm>

教育委員からのメッセージ

「あそびについて」

清水勲夫教育委員

「あそび」とは子どもの自己活動に対してつけられた名前です。それは大人の考える望ましい目的のための手段ではなく、子どもにとって、やりたいことそのもの。強要されないこと、出来るだけ多くの制約から解放されること、そして心から楽しいことが優先されます。時には善悪を外れることもある、そんな危なっかしい体験もそれなりに貴重です。くつろぎ、時に張り合うライバルの関係、つながり守られる関係、指導や援助を受ける関係、そして憧れる関係。子ども若者たちの成長には欠かせない関係性ですが、これらの多くが遊び仲間から得られるものです。「あそび」には受けとめ方や考え方の幅を拡げ、変えてくれる力があります。それは困難に立ち向かう知恵やエネルギー、時にユーモアの源になります。しかし、今日では「あそびの環境」について多くの視点から問い直す必要も出てきました。「時間」「仲間」「空間」の三つの「間」がやせ細り、子どもたちの身辺から無くなりかけていることは、その中でも気になることと言わなければなりません。



今後のイベント情報

★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	特別展 舟越桂 私の中のスフィンクス	H27. 6. 27 (土) ~ H27. 8. 30 (日)
	共催展 天野喜孝展—想像を超えた世界—	H27. 6. 27 (土) ~ H27. 8. 30 (日)
県立人と自然の博物館	収蔵資料展 学んで魅せる標本展	H27. 7. 18 (土) ~ H27. 11. 15 (日)
	ミニ企画展 山陰海岸の植物展	H27. 8. 9 (日) ~ H27. 10. 4 (日)
県立歴史博物館	特別企画展 姫路 今むかし part II	H27. 7. 4 (土) ~ H27. 8. 30 (日)
県立考古博物館	企画展 夏休みこども博物館 こうこはくフィギュア展	H27. 7. 18 (土) ~ H27. 8. 30 (日)